

支笏洞爺国立公園関連年表

暦年	国立公園施策、自然環境関連事項等	社会情勢等
1949 (昭和24年)	支笏洞爺国立公園指定、モラップ野営場開業	軍測候所羊蹄山避難小屋として利用開始
1950 (昭和25年)		登別簡易水道給水開始
1951 (昭和26年)	樽前山噴火、有珠山の溶岩円頂丘が天然記念物に指定	幌別町(現登別市)町制施行、倶多楽湖自動車道路開通、美笛に役場支所設置、狩太町(後のニセコ町)町制施行
1952 (昭和27年)	道立昭和新山資料館建設	喜茂別町町制施行、カルルス温泉バス開通
1953 (昭和28年)	支笏湖畔にレンジャー配置、特別地域・特別保護地区の指定	洞爺湖遊覧船株式会社創立
1954 (昭和29年)	支笏湖集団施設地区指定、洞爺丸台風により支笏湖・樽前山一帯の森林に大被害	白老町町制施行
1955 (昭和30年)		洞爺湖観光会館落成、洞爺湖中島に道立森林博物館開館
1956 (昭和31年)		昭和新山植物園開設、昭和新山観光道路新設
1957 (昭和32年)	有珠山の溶岩円頂丘が特別天然記念物に指定、カルルス温泉が国民保養温泉に指定	
1958 (昭和33年)		千歳市市制施行
1959 (昭和34年)	第1回昭和新山火祭り開催	
1960 (昭和35年)	有珠山溶岩円頂丘が昭和新山に名称変更	
1961 (昭和36年)	支笏湖畔で第3回国立公園大会開催、両陛下を迎え支笏湖畔で第12回植樹行事および国土緑化大会開催	幌別町の町名を登別町に変更
1962 (昭和37年)		壮瞥町、京極町町制施行
1963 (昭和38年)	国設モラップスキー場開設、カルルススキー場完	
1964 (昭和39年)	第1回地獄まつり開催	壮瞥町観光協会設立 ニセコ町制施行
1965 (昭和40年)	昭和新山・有珠山間ロープウェイ開通	
1967 (昭和42年)	支笏湖畔有料道路開通	
1968 (昭和43年)	洞爺湖スキー場完成	
1969 (昭和44年)	仲洞爺キャンプ場開設	
1970 (昭和45年)	全日本冬季競技総合大会滑降競技が恵庭岳滑降コースで行われる	恵庭市、伊達市、登別市市制施行
1971 (昭和46年)	環境庁発足	
1972 (昭和47年)	第1回登別温泉湯祭り開催、札幌オリンピック滑降競技が恵庭岳滑降コースで行われる	伊達市市制施行
1975 (昭和50年)	支笏湖野鳥の森開設	支笏湖畔に温泉湧出
1976 (昭和51年)	支笏湖畔に国民休暇村宿舎着工	
1977 (昭和52年)	国設美笛野営場開設、有珠山噴火、第1回支笏湖紅葉祭り開催	
1978 (昭和53年)	樽前山小噴火、火山科学館開設	
1979 (昭和54年)	第1回支笏湖水濤祭り開催、自然公園美化管理財団支笏湖支部設立	
1980 (昭和55年)	支笏湖ビジターセンター開設	
1981 (昭和56年)	火山博物館移転	
1982 (昭和57年)	北大エゾシカ研究会が中島でエゾシカ生息確認	国道276号線美笛トンネル開通
1983 (昭和58年)	自然公園美化管理財団登別支部設立	
1984 (昭和59年)	登別化石林発見、自然公園美化管理財団昭和新山支部設立	
1986 (昭和61年)	支笏湖畔有料道路無料化 支笏湖畔を支笏湖温泉に名称変更 千歳鉱山閉山	
1987 (昭和62年)	支笏湖で第11回全国植樹祭開催	
1988 (昭和63年)	オロフレトンネル開通	支笏湖小学校環境庁長官賞受賞
1990 (平成2年)	乗入規制区域の指定	
1993 (平成5年)	支笏湖ヒメマス移植100年	
1995 (平成7年)	山線鉄橋開通	
1999 (平成11年)	支笏洞爺国立公園指定50周年	
2000 (平成12年)	有珠山噴火 管理官事務所が自然保護官事務所に改組	
2001 (平成13年)	環境省発足、支笏湖結氷	「ニセコ町まちづくり基本条例」制定
2003 (平成15年)	洞爺湖地域公園区域の拡張	
2004 (平成16年)	台風18号により支笏湖一帯の森林被害	真狩村「北海道の道百選」受賞
2005 (平成17年)	地方環境事務所の設置	
2006 (平成18年)	支笏湖動力船乗入規制開始	伊達市発足(旧伊達市・大滝村) 洞爺湖町発足(虻田町・洞爺村)
2007 (平成19年)	洞爺湖ビジターセンター開設	